

ただ今開催中！(期間:2025 年 4 月 13 日～10 月 13 日) ～2025年大阪・関西万博「RITE 未来の森」～

2025 年大阪・関西万博室メンバー(2025 年4月)

室長	中神 保秀	室員(兼)	望月 則孝
副室長	出口 哲也	室員(兼)	久貝 潤一郎
室長代理(兼)	菊池 直樹	室員(兼)	三戸 彩絵子
室長代理(兼)	梅田 信雄	室員(兼)	穂積 章一郎
主任	森 佳代子	室員(兼)	窪田 善之
室員	春日 真喜	室員(兼)	倉橋 尚美

1. RITE 未来の森とは

RITE は、現在開催中の 2025 年大阪・関西万博の未来社会ショーケース事業「グリーン万博」のシルバートナーとして、DAC(Direct Air Capture)を中心としたネガティブエミッション技術を紹介する「RITE 未来の森」を出展中です。



図 1 RITE 未来の森 全景

DAC は自然の森と同じように大気中の CO₂を回収することから「RITE 未来の森」と名付けました。

「RITE 未来の森」では、まず、ガイダンスホールにて地球温暖化問題の概要や DAC や CCS の必要性を解説する立体映像をご覧ください。その後、NEDO のムーンショット事業として実証試験を行っている DAC プラントのほか、RITE が従来から研究している CCS

(CO₂の分離・回収・地中貯留技術)技術に関する展示など、カーボンニュートラル社会の実現に不可欠な次世代技術をご紹介します。

また、同じくムーンショット事業として DAC の研究をしている名古屋大学、九州大学の展示ブースや、アスファルトへの CO₂鉱物固定を行う前田道路の展示ブースもあります。体験型の展示なども設置し、技術内容をわかりやすく紹介します。

2. ガイダンスホールと解説映像

最初に来場者をお迎えするガイダンスホールは、持続可能性と建築美を両立する「CLT 折版構造」を採用した木造建築です。CLT(直交集成板)を折り紙のように折り曲げた建築手法で、高い構造強度と柱のない開放的な空間を実現しています。ガイダンスホール内では、ゴーグル不要の最新の立体映像技術を用いて、子どもから大人まで理解しやすいストーリー形式で地球温暖化やネガティブエミッション技術を紹介しています。



図 2 ガイダンスホール



図 4 DAC 実証プラント

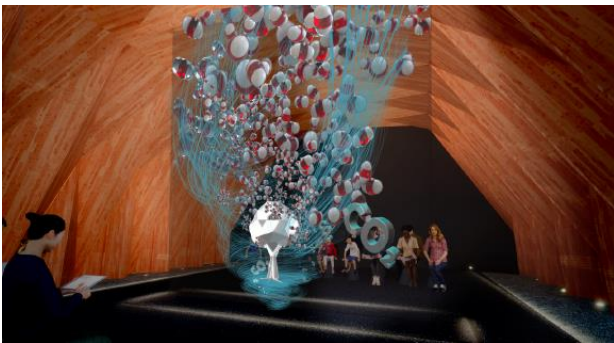


図 3 映像イメージ図

3. DAC 実証プラント

万博会場で実際に空気から CO_2 を回収する実証試験を行っている DAC プラントをご覧ください。全長 7m、3 基のプラントです。ムーンショット事業として、万博会期中にプロセス確認や吸収材の性能テストなど各種試験を行います。

DAC で回収した CO_2 は、会場外に輸送して二酸化炭素地中貯留組合のメンバーの貯留サイトで貯留して頂く予定です。また隣接する大阪ガスのメタネーション施設およびエア・ウォーターの CO_2 回収・ドライアイス製造装置へ供給するなど、 CO_2 の有効利用を行います。

4. 見学ツアー

「RITE 未来の森」の見学ツアー(木曜日定休日)を実施しています。1 日 6 回、各回定員 20 名の見学ツアーとなります。

「RITE 未来の森」は一般の来場者が歩いて立ち入ることができない管理区域内にあるため、専用 EV バスに乗って移動していただきます。

見学ツアーは、地下鉄夢洲駅から万博会場の東ゲートを抜けて東ゲート南停留所からのスタートとなります。2, 3 分 EV バスに乗って現地へ移動し、ガイダンスホールで解説映像をご覧いただいた後、実際の DAC 実証プラントを見学いただき、各展示を通じて、RITE の技術をご体験いただけます。内容は、ビジネスパーソンはもちろん、学生や一般市民にもわかりやすい構成としています。

見学ツアーは、RITE のホームページ[「RITE 未来の森」](#)から予約を受付中です。現地でお待ちしております、ぜひご来場ください。

5. おわりに

大阪・関西万博のコンセプトは「未来社会の実験場」です。世界的な未来技術発信の場である万博を通じて、RITE が提案するこの DAC を中心としたネガティブエミッション技術を世界に発信していきます。

是非ご来場いただき、地球温暖化対策の最先端技術である実際の DAC プラントを体感してください。